

1. **タイトル**：「岩坪威教授が米国アルツハイマー病協会より 2010 Henry Wisniewski Lifetime Achievement Award を受賞」

2. **発表概要**：

米国アルツハイマー病協会「ヘンリー・ウィズニェフスキ記念賞」の今年の受賞者に、岩坪威・東京大学大学院医学系研究科教授（神経病理学）が選ばれました。受賞理由は、アルツハイマー病研究に対する貢献、特に J-ADNI 研究を通じ、超早期アルツハイマー病の画像・バイオマーカー・臨床指標の確立を推進したことが評価されました。

3. **発表内容**：

J-ADNI (Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative)研究は厚生労働省、経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)などの後援により 2007 年に開始されたアルツハイマー病の臨床研究で、東京大学をはじめ全国 38 主要臨床施設が参加し、MRI, PET, 脳脊髄液、認知機能検査などを総合して、アルツハイマー病根本治療薬の有効性評価指標を確立しようとするものです。すでに 400 名を超えるボランティア被験者が参加し、米国 ADNI とともに、世界のアルツハイマー病治療研究の基準を作る活動として期待されています。

贈呈式は 2010 年 7 月 11 日、国際アルツハイマー病カンファレンス (ICAD; 米国ホノルル市) で行われます。ICAD は世界最大のアルツハイマー病国際学会です。同賞は 1988 年に ICAD を創立したアルツハイマー病研究者 Henry Wisniewski 教授の業績を記念して創設されたもので、日本人の受賞は初めてです。

4. **注意事項**：ハワイ時間で 7 月 11 日 (日) 午前 0 時 (日本時間 7 月 11 日 (日) 19 時 (新聞は 12 日 (月) の朝刊)) 以降の報道解禁となります。

5. **問い合わせ先**：東京大学医学系研究科神経病理学  
教授 岩坪 威

6. **受賞の対象になった研究**：

「 J-ADNI 研究 」

## 7. 受賞者の略歴・役職：

現職：東京大学医学系研究科神経病理学 教授

略歴：

昭和59年 東京大学医学部卒

昭和61年 東京大学医学部附属病院神経内科入局

平成元年 東京大学医学部附属脳研究施設脳病理学部門 助手

平成4年 東京大学薬学部機能病態学寄付講座 客員助教授

平成10年 東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学 教授

平成19年 東京大学大学院医学系研究科神経病理学 教授

J-ADNI 主任研究者

専門：アルツハイマー病、パーキンソン病の分子病態学、治療法開発



## 8. 参考URL：ICAD ホームページ

[http://www.alz.org/icad/icad\\_awards.asp](http://www.alz.org/icad/icad_awards.asp)